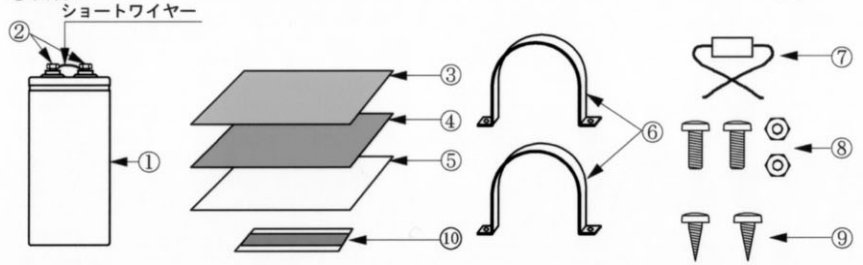
取扱説明書　取付けの前にお読みください

この度はブリッジ・オーディオ・ラボＢＥ－101オーディオ・キャパシターをお買い求めいただき、誠にありがとう御座います。取付けを行う前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。尚、取り付けには専門知識、技術、経験等が必要となります。詳しくは、お買い求めの販売店または弊社にご相談下さい。

- このオーディオ・キャパシターは危険防止のため、未充電の状態で出荷しています。また、＋ターミナル端子とーターミナル端子の間には銅線でショートさせた状態となっています。ご使用の前に必ず銅線を取り外し、キャパシターを充電して下さい。
- オーディオ・キャパシターは、熱や直射日光に当たらず、油や水がかからない場所を選び、アンプの電源ターミナルから可能な限り短かく配線して下さい。電源ケーブルとアース・ケーブルは接続するパワーアンプに適したケーブル（市販品）をご使用下さい。尚、充電したキャパシターは、通常のバッテリーと同様にお扱い下さい。

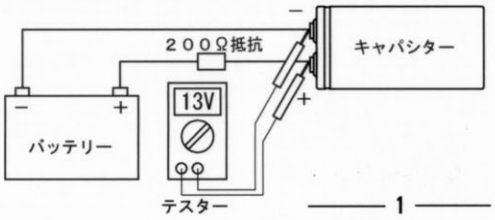
1. 部品構成

①オーディオ・キャパシター本体 ―― 1本
②電極用ボルト（金メッキ品） ―― 2本
③安全上のご注意 ―― 1部
④取扱説明書 ―― 1部
⑤取付穴の指示図 ―― 1部
⑥取付金具 ―― 2個
⑦充電用抵抗（200Ω1W） ―― 1本
⑧取付ビス・ナット（Ｍ４×20） ―― 4本
⑨取付タッピングネジ（φ4×20mm） ―― 4本
⑩絶縁テープ ―― 2本



2. 取付作業の前に

- 取付けの前に、必ずキャパシターのショートワイヤーを外し、予備充電して下さい。
- キャパシターを充電するときは、付属の200Ω 1W仕様の抵抗を下図の様に接続して行って下さい。抵抗を接続する事によって過電流を抑制し、充電の際に発生しがちなスパークを防止します。
- 充電開始からキャパシターが動作可能な状態になるまでに数分かかります。テスター等でキャパシターの電圧を測定し、13V電圧（バッテリーと同電位）になれば充電は完了です。抵抗は熱を持っていますので十分に注意して、ラジオペンチなどで抵抗を取り外して下さい。
- 予備充電の完了後はショート防止のため一時的に必ずキャパシター電極をセロテープ等の絶縁材で配線するまでの期間保護して下さい。



⚠ 警告

充電ならび車両へのセッティング接続時にターミナルの極性＋、－を間違えないようにして下さい。誤って＋と－を逆に接続した場合数分後に防爆弁から電解液が噴出することが有ります。

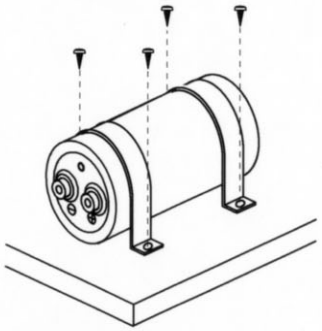
取扱説明書　（つづき）

BAlabo

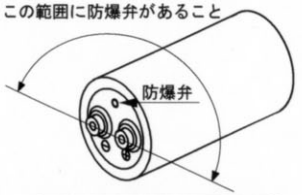
3. 取付方法

- 「取付穴の指示図」を使用してオーディオ・ボードへの取付け位置を決定してください。
- 「取付穴の指示図」にシワが無いように延ばしてから保護テープを剥がし、取付位置に貼り付け、キリなどで下穴を空けてください。
- 下穴位置へキャパシター本体と取付金具を固定して下さい。

横取付け例（推奨）



防爆弁方向のご注意



⚠ 注意

キャパシター本体の防爆弁が必ず中心線から上側に来るように取付けて下さい。

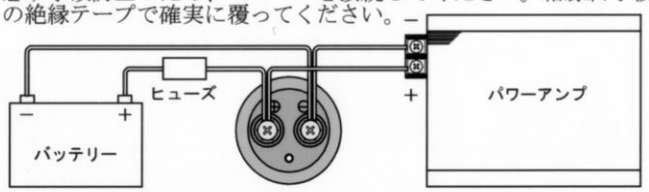
縦取付け例

⚠ 注意

縦置きする場合は必ずキャパシター底面がオーディオボードに密着し、電極面が上側にくるようにセットして下さい

4. 結線方法

オーディオキャパシターは下図の様にパワーアンプの直前に取り付け、電源ケーブルには必ず事故防止のため、ヒューズを接続してください。結線終了後キャパシター電極を付属の絶縁テープで確実に覆ってください。

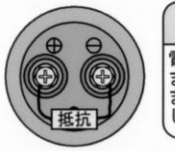


⚠ 警告

- バッテリーへのマイナス端子結線は最後に行って下さい。
- ヒューズは使用するアンプの指定容量に合わせてください。
- 配線終了後、キャパシター電極は確実に絶縁してください。

5. システムから取外す場合

キャパシターをシステムから取り外した場合は付属の抵抗（200Ω）を図の様に接続して放電してください。完全に放電するまでには数分かかりますからテスター等を使用し、電圧降下を確認してください。また放電終了後、保管する場合は抵抗を接続したままの状態で保管てください。

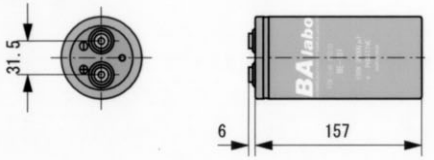


⚠ 注意

電解液が漏れ出す恐れがありますのでキャパシターを逆さまにした状態で長期間、保管しないで下さい。

6. 仕様

使用温度範囲	－35℃～＋ 85℃
定格電圧	120V　DC
容　量	38000 μF
寸　法	77φ×157L
重　量	1.2Kg



7. お問合せ先

発売元
マインズカンパニー
〒738-0041
広島県廿日市市六本松２－１９－８
TEL　０８２９－３８－０１７７
FAX　０８２９－３８－０１０４

製造元
ブリッジ・オーディオ・ラボ
〒141-0022
東京都品川区東五反田1－９－７
東建８０９
TEL　０３－５４４７－２３３７
FAX　０３－５４４７－２３４４